

2018年度

自治体間ベンチマーキング シンポジウム

多くの自治体が人口減少に直面する中、「持続可能な行政サービス」を考えていくことは必須です。そのため、人的投入量の多い基幹業務について、業務プロセス・パフォーマンス・コスト等を比較し、差異を「見える化」とするとともに、自治体間で共通化できるベストプラクティスを検討し、業務改革・改善につなげる取組である「自治体間ベンチマーキング」を2015年度に開始しました。この取組には、これまでに12の自治体が参加しています。

このシンポジウムでは、自治体間ベンチマーキングによって得られた知見を周辺自治体と広く共有するため、有識者に講演いただくとともに、2018年度の取組状況について発表します。



基調講演 コストの『見える化』へ

さとう もとひろ
講師 佐藤 主光 氏

一橋大学国際・公共政策大学院 教授

- ・経済財政一体改革推進委員会専門委員
- ・政府税制調査会委員
- ・財務省財政制度等審議会委員
- ・内閣府・民間資金等活用事業推進委員会委員

《 日 時 》

2019年2月15日(金)
14:30～16:30(14:00開場)

《 会 場 》 ※定員120人

新宿住友スカイルーム ROOM5

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル47F
都庁前駅徒歩2分(大江戸線)
新宿駅西口徒歩8分(JR線、小田急線、京王線)

《 お申し込み先 》

主催 自治体間ベンチマーキング事務局
(町田市政策経営部企画政策課)
電話 042-724-2103
E-mail: seisaku010_02@city.machida.tokyo.jp

《 お申し込み方法 》

2月8日(金)までに上記アドレス宛に
別紙「出席票」をご送付いただくか、
「団体名、氏名、連絡先」をお知らせください

♪ 財政改革、行政管理、住民税、資産税、住基・
印鑑・戸籍業務を担当する自治体職員の皆様
はじめ、どなたでもご参加いただけます♪

《 主なプログラム 》

- 1 基調講演「コストの『見える化』へ」
- 2 自治体間ベンチマーキングの概要
- 3 取組事例の紹介
① 住民税業務
② 資産税業務
③ 住基・印鑑・戸籍業務

《 会場案内図 》

